まちづくり通信 3 March やまだ

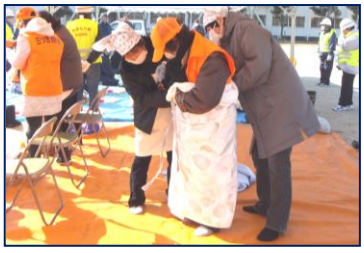
発行者　山田学区まちづくり協議会
（山田市民センター）
〒525-0063
草津市南山田町678
Tel・Fax077（562）0044

＊山田学区総合防災訓練＊

２月１０日(日)に、琵琶湖西岸断層帯の南部を震源とする大規模な地震を想定した総合防災訓練を、山田小学校で実施しました。訓練には、各町から避難された皆さんと当日の運営スタッフを合わせ、約400名の参加がありました。

参加者には、応急、救出、消火、炊出し等の訓練のほか、避難所運営図上訓練も体験していただきました。

東日本大震災から2年を迎えましたが、”災害は忘れた頃にやってくる”と言われています。 日ごろから防災に関心を持って、十分な備えをしましょう ！！



《安心のバトン》の取り組み

救急医療情報キット『安心のバトン』 は‘もしも・・’のときに役立ちます。 日々の暮らしの中で、急に倒れたり、自分で家族や近所の方に連絡できない時のために、かかりつけ医、常備薬、緊急連絡先などの情報を事前にケースに入れ、冷蔵庫に保管して、駆け付けた救助の方が、迅速かつ的確に病院に搬送できることを目的とした取り組みです。

今年度は一人暮らしの高齢者を中心に『安心のバトン』を配布します。

※ 配布されるものは左の写真の物です。　（くらしすこやか部会）

事業サポーター募集

＜子どもたちと楽しく活動しませんか？＞

小学生対象の事業、宿泊体験「アドベンチャーハウス」と、土曜日の居場所づくり（仮称）「わんぱくひろば」の運営をサポートしていただける方を募集します。

～子どもと大人の「共育ち」～をスローガンに、「地域の子どもは地域で見守り、育てよう」とするものです。

子どもたちの健やかな学びに関わりたいとご賛同いただける方は、下記にご連絡ください。

連絡先　山田学区地域協働合校推進委員会　　事務局　山田市民センター　TEL　562－0044

＊　廃食油回収終了のお知らせ＊

山田市民センターでの廃食油の回収は、施設の安全面を考慮し、『 3月31日 』 をもって終了いたします。　　ご不便をおかけしますがご了承をお願いいたします。

山田学区まちづくり協議会の活動報告

ひといきいき部会

第2回　人権講座　　1月31日(木)

『世の中けったいなことが多いんとちがうか ？ 』

チポロペッさんを講師に迎え、沖縄の三線をもとにした缶三線を引きながら、平和の大切さの話、アイヌ民族の楽器を使って場の雰囲気を和ませながら少数民族の話、家族の話から人への気づきの話、伝言ゲームで話の間違った伝わり方を実感するなど、楽しい人権学習を体験しながら、参加者に「人権とは」を問いかけ、知識を深めるよい機会になりました。

学区同推24年度総括研修会　　2月5日(火)

『～人権を大切にする住みよいまちに～』

町内学習懇談会の成果と課題を再確認する場として総括研修会が開催されました。学区同推協会長から、全体報告があり、その後、モデル町(南山田)の取り組みを報告していただきました。

〈山田学区同和教育推進協議会〉

くらしすこやか部会

町別対抗ボウリング大会　　2月3日(日)

ACTエースレーン草津で、各町から選抜された総勢62名の皆さんが、自慢の腕前を競いました。

今回からマイボール・マイシューズ禁止で、日頃の実力が発揮できなかった人や、実力以上のスコアが出せた人、さまざまでしたが楽しいひと時になりました。

〈団体戦〉

優　勝	山田町
準優勝	南山田町
3　位	木川町

〈個人戦　優勝者〉

男子	田淵明雄さん
女子	奥村和美さん
小学生	久保海斗さん

〈山田学区体育振興会〉

くらし安全部会　　1月27日(日)

ヨシ刈り ＆ ヨシ松明まつり

北山田湖畔において、山田学区のボランティアの皆さん(約70名)で、ヨシ刈りを実施しました。

その後、刈り取ったヨシで、今年の干支にちなんだ大蛇と3本の松明を作り、夕闇せまる湖畔の空を赤々とこがしました。

山田のマップつくり

豊かな自然を感じ、人々がふれあい、つながって豊かな心を育み、誰もが安心して暮らせる街づくりを目指して、そこに住む人たちの知恵や思いを生かせる環境つくりのためマップつくりに取り組んでいます。

今年度は**『健康ウォーキングマップ』**に取り組んでいます。

1月の円卓会議　　1月8日(火)

～住み良い山田学区にするために～と題して、現役世代の皆さん19名の方々が意見交換をしました。主に子ども達のことに話が集中しましたが、登・下校時の安全や子ども達の遊び場づくりなどについて建設的な意見がでました。

今後、まちづくり協議会の事業計画の参考にさせていただきます。

わんぱくプラザやまだ　公民館から　やまだのひろば

＜2月9日（土）＞

ヨシネットワークの鳥飼さんに指導いただき、環境にやさしいヨシを使った、紙すきを体験しました。また、ヨシでブーブー風船も作り、チョコフォンデュのお楽しみもありました。

＜1月26日（土）＞

自主サークル「I Tサークル」と「キャロット」のみなさんのお世話で、パソコンを使いしおりづくりと、ごはんせんべいつくりを楽しみました。

＜2月23日（土）＞

BBS会と更生保護女性会のみなさんと巻き絵芝居を見たり、お好み焼きつくりをしました。

福祉講座　テーマ　～人は人、我は我、されど仲良し～

＜1月24日（木）＞

講師の宮下千代美さんは、草津に来られて、知らない土地での子育てで、近隣の方に見守られ、助け合いの素晴らしさを感じていた時、誘われて、滋賀自立生活センターでのボランティアを始められました。 その活動は、「障害を持ちながら、市民として社会の中でどうして活動していくか、それは私たちで考えたい。だけど、出来ないことは、それを出来る人に手伝ってもらいたい。」という、障害を持つ人の思いに寄り添うものでした。

ここでの≪自立≫ということは、人の考えに影響されずに、自分がどう生きていくかを決定することであり、自分が出来ること、出来ないことを見分け、「出来ないことは助けてください。」と言えるようにすることで、ややもすると、ボランティアは何でもかんでも支えようとするが、そうではなく、その人が転んだ時に手を差し伸べる。それが、共生で、そのためには、話をすること、語り合うことが大切とのことでした。

また、「出来ないことを手伝ってくださいとは、なかなか言い出しにくいもので、今の80代90代の方は、お世話する人の都合に合わせてしまっている。そして、じっと辛抱している、そんな方が多いのではないでしょうか。ですから、若いうちから、これとこれを助けてください、あとは自分でやります。と言える訓練をしておくのもいい方法かとも思っています。ですから、障害者のためにボランティアにいったつもりが、自分のためだったと気が付いた訳です。」とも話されました。

自分が幸せでなければ人を幸せに出来ない。その「しあわせ」な暖かな空気を、社会に広げていこうという思いを、参加者のみなさんで共有できたのではないでしょうか。

＜社協･公民館共催＞

お 知 ら せ

すくすくランドであそぼう

市内の1才以上、幼稚園入園までのお子さんをお持ちの方、親子でご参加ください。

＜活動日＞　毎週月曜日　10:30～12:00

場所　：　山田市民センター

4月15日　　出席簿づくり

持ち物：クレヨンか色えんぴつ、のり、はさみ

4月22日　こいのぼり作り

持ち物：同上

自主教室（キャロット）からのお誘い

料理のレパートリーを増やしませんか！！

フランス料理のシェフに家庭でできる料理を教えてもらっています。皆さん一緒にいかがですか。まず一度見学してください。　　**毎月　第3水曜日　9:30～12:30**

まちづくり協議会活動団体紹介

山田学区子供会指導者連合会

子ども達が集団の中で、連帯感や協調性を高め、健やかに育つための力を身につけるとともに、リーダーとして活動できる素地を育てるために、山田学区では、5年生を対象にリーダー研修を実施し指導しています。

＜リーダー研修のねらい＞

① 皆の中で自分自身を見い出そう。

② リーダーとは、何かを学ぼう。

③ 皆の力で物事を成し遂げよう。

～新5年生のみなさんへ～

4月にリーダー研修の受講者募集の用紙を配布します。多くのみなさんの受講をお待ちしています。

青少年健全育成山田学区民会議 広報欄 （山田だいこん）

・初掲載のあいさつ

今年度、第１刊までは「山田だいこん」として独自に広報誌を発行してまいりましたが、まちづくり協議会が発足し、広報誌も発刊されるようになりました。つきましては、記事の内容が重複している所もかなり見受けられ、今回から経費節減も含め、まちづくり協議会広報誌の一面を青少年健全育成山田学区民会議の広報活動欄として頂くことになりました。今後は、事業活動の報告だけではなく、青少年健全育成の啓発記事を重点に掲載してまいります。今後とも、青少年健全育成山田学区民会議活動にご理解、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

青少年健全育成山田学区民会議　役員一同

・小中学生の登下校の安全（町別ミニ会議より）

ミニ会議の実施報告書につきましては、すでに各町内会長・各種団体長等にお届しております。今後、行政にお願いすべき点は、自治連合会役員の皆様のお力を頂き改善をしてまいりたいと考えております。また、学区民が協力して改善出来ることについては、広報等を通じ啓発運動を行っていく方針です。実現するには時間がかかるかもしれませんが、学区民皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ミニ会議の意見の中には、日ごろからの声かけ、あいさつが重要であるというご意見が多数ございました。

まず、家庭の中で、「おはよう」・「行ってきます」・「行ってらっしゃい」・「ただいま」・「お帰り」・「おやすみ」・「ありがとう」等の言葉かけを心がけ、あいさつができる青少年を家庭から育てましょう。

最後になりましたが、町別ミニ会議開催あたり、各町会長、推進委員の皆様、そしてご参加頂きました皆様のおかげをもちまして、無事に終了いたしましたことをご報告致しますとともに、お礼申しあげます。貴重なご意見ありがとうございました。

・ケータイ安全教室（平成 25 年 2 月 20 日開催）

・・・・・子どもたちのスキにつけこむ悪質な手口・・・・・

メールやサイトを通じて、子どもたちの好奇心につけこんでくる、悪徳業者や悪意をもった大人などがいます。子どもにケータイを持たせる前に、ケータイの利便性だけでなくリスクも認識し、「本当にケータイが必要なのか、何のためにケータイを持たせるのか」を十分に話し合うことから始めましょう。

その上でケータイを持たせることになったら、まず家族間で使用ルールを決め、同時にケータイを安全に使うためのサービスや機能など、子どもを守るための対策を考えましょう。

ケータイを使った犯罪が、ますます悪質で巧妙になってきている中で、子どもをトラブルから守るために、保護者も現状を認識し、対策を考えることが大切です。また、子どもにも自分自身を守る方法を身に着けさせましょう。

迷惑メール転送先　meiwaku@dekyo. or. jp
（迷惑メールが届いたら上記のところへ転送しましょう）